

宝珠劇場とやま

「コロンブス計画」 P.8

エッセイ 池田政子

「出会いの神秘」 表紙2

PIN UP TOYAMA

夏の予感 P.12

TRIP 県政

県立近代美術館 P.14

ふるさとみてある記

富山市 P.16

生活を守る水の祭り 表紙3



TOYAMA PREFECTURAL REPORT

「自然に親しむ集い」(美女平で、6月5日)

県広報



1988
No.234

7

富山を旅行された東京のKさんのハガキに「富山は山も川も美しいけれど、平野も美しいところですね。」とあり、はっとしたのだ。雄大な立山連峰、大きな川、深い海、ダイナミックな風景にばかり心を奪われていて、目立たない静かなやさしさで私達を包んでくれた平野の美しさに気づかなくていいことを恥しく思った。

8号バイパスを走ると、行く手に立山連峰が聳え、両側に緑の田園がひろがり、雲羽丘陵もみえ、遠くに海が光る。珍しい野鳥も多く飛来する。井の中の蛙でふるさと身びいきかもしれないけど、雪の降る季節が長いとはいえ、美しい豊かな自然に恵まれたこの富山に住めることの幸せを常々感謝している。

そしてこの地に、それも晴れて立山連峰がよく見える日に岡山の詩人永瀬清子先生をお招き出来たらと願っている。先生は、この豊かな自然をどのように受けとめて下さるだろうか。賞された。

この五月八日の母の日は忘れられない日となった。朝突然、金沢の友人より電話があり、永瀬先生が今日いらつしやるとのこと。その夜、福井からの二人とともに、永瀬先生を囲んで心満ちた会食となった。話される重みのある言葉ひとつひとつが心の空白を埋めてゆき、お会いする度に深く惹かれてゆくのを覚える。私は偶然にも十日ほど前、新聞の随筆に永瀬先生の「あけがたにくる人よ」の朗読のことを書いていたので、それをお見せしたところ、その随筆の堀口大学の詩、「古風な幻影」の一節「夕ぐれわれ水を眺むるに流れよるオフェリアはなきか？」と口ずさみたいところであるという個所を読んで、堀口先生はね、こんな風に朗読されましたよ、とゆっくり抑揚をつけて真似された。

それはいつ頃のことですかと私、「昭和十二年、共立講堂でした。千家元磨や佐藤惣之助も朗読したんですよ。五十年前のこと、記憶の凄さに驚く。

宮沢賢治の言葉通り、雨ニモ負ケズの手帳が発見された時も、そこに居あわせたとか。私は賢治の言葉通り、ヨクミキシワカリソシテワスレズだったから」と、云われたが、堀口大学の朗読を永瀬先生から聞かせてもらえるとはいってもみないことで、不思議な感動が身を貫いていった。

人と人との出会いの神秘には、宇宙の星がどこかで出会いの合図でもしているのだろうかと思うことがある。瞬きの間にすぎない人生にも素晴らしい、あるいは苛酷な出会いは用意されていて、いま牽牛と織女はどのあたりに懸かるかは知らないが、今夜又、出会いの合図はされるのだろうか

出会いの神秘

池田 瑛子(詩人)



「いい天気で、眺めが良くて、ああ、来てしまった」というのが実感でした。」と、黒く焼けた顔をほころぼす前田友子さん。富山インドヒマラヤ登山隊に参加し、五月十六日、スダルシヤン・バルバット(六千五百七メートル)登頂に成功しました。

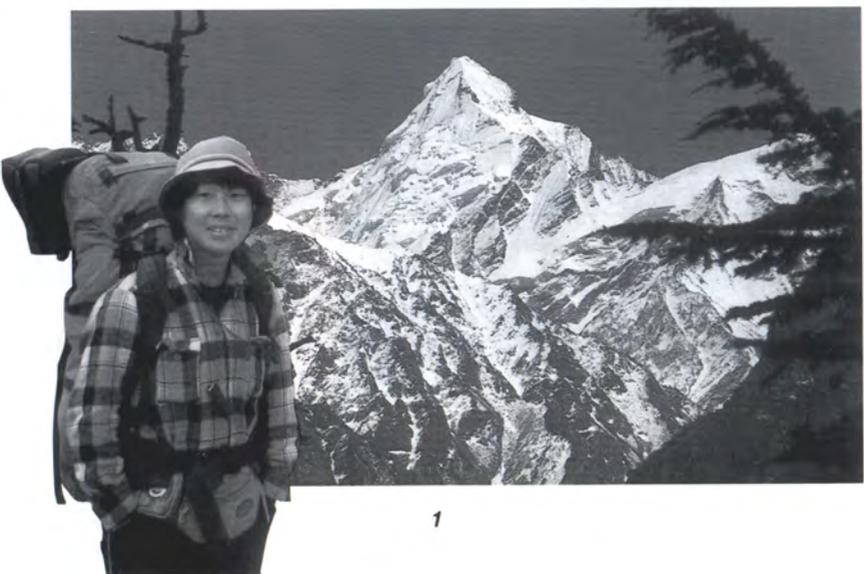
前田さんが山に目ざめたのは九年前。会社の仲間に連れられて白馬岳に登ったのがきっかけでした。そして、雪の山へ登りたくて六年前に富山山想会に入りました。今回のスダルシヤン・バルバット登頂は、山想会三十五周年記念登山です。

「出発直前まで入院していたのでトレーニングはできず、かなりゴタゴタしていて精神的にもしんどかったです。出発前からの難関続き、普通の人なら諦めるところを、「三年前から楽しみにしていたし、最初で最後のチャンス。」と出発した前田さん。

途中、全員が高山病にかかって引き返したり、氷の壁にぶつかって身動きできなくなったことも。酸素が薄いので動くとすぐに息切れし、ついには一日六百メートルしか進めなくなったりとか。でも、思い切って行ってよかった。忍耐力は十分つきました。」

「山に登ると下界のことを忘れられるし、気持

ちが晴れます。」好きな山は、剣岳が眼前に見える大日岳。特に白い雪と群青色の空のコントラストが美しい春山は最高とか。小柄ながら、体力と精神力は相当のものです。



スダルシヤン・バルバット登頂

前田友子さん

堂々770点、第43回「県展」開催。6月11日～17日



県展は、毎年開催されている本県最大の公募美術展で、今年四十三回目を迎えました。応募部門には、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門があり、応募総数は千二百七十八点にのぼりました。その中の入選作と招待作を合わせた七百七十点が、六月十一日から十七日まで県民会館で展示されました。

開会式には、出品者をはじめ県内各地から多数の観覧者が参加し、県民会館ロビーは満員の人で埋めつくされました。

審査員の評によれば、富山県展は地方展の中では作品の水準が高く、さらに将来有望な作家が多いそうです。

なお、入賞作品巡回展が、六月十九日から二十七日まで入善町民会館で行われ、多勢の方に楽しめました。

心豊かに緑の祭典
第1回緑花フェスティバル



第一回緑花フェスティバルが六月四日から三日間、婦中町上轡田の富山県緑化センターで開かれました。

これは、県民の緑化意識の高揚と同センターのPRが主なねらい。サツキ展や草花の育て方を講義する緑花教室、お茶会、花や苗木の即売会などが催され、期間中、大勢の人々が訪れました。

また、婦中みどりの少年団も参加。芝生広場の樹木の下でのキャンプや巣箱作り、木の種類を学ぶ「グリーンウォッチング」などをして緑を楽しみました。

標高1,000メートルの自然を探る

～美女平で「自然に親しむ集い」



六月五日、立山町美女平で、自然に親しむ集いが行われました。

美女平は、日本でも有数の野鳥の宝庫。立山スギの林や、ブナの原生林も多く、「森林浴の森百選」にも選ばれています。

この日参加したのは、家族連れやグループ等約二百二十名。ナチュラリストの案内で、約二キロのコースを回り、野鳥観察や植物観察を楽しみました。

あちこちから聞こえる鳥の美しいさえずりや、珍しい木や草花に参加者は大喜び。標高一、〇〇〇メートルの自然を満喫し、自然への理解を深めました。

なお、自然に親しむ集いは、八月二十一日に大山町大品山、十月二日には朝日県立自然公園でも開かれます。

富山の魅力、勢ぞろい

「'88いきいき富山観光と物産まつり」開催



六月十日から十二日の三日間、富山市内のテクノホールで、「'88いきいき富山観光と物産まつり」が開催されました。

これは、富山の新鮮な味覚・伝統ある工芸品・情緒豊かな民俗芸能等を県内外の方に認識してもらうため、いきいき富山観光キャンペーンの一環として毎年開かれているものです。

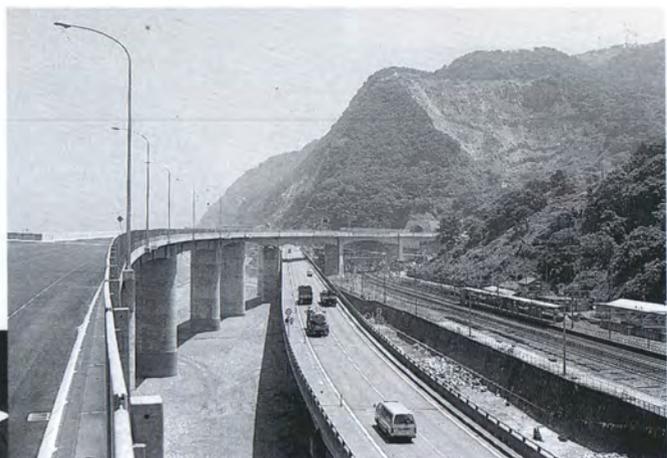
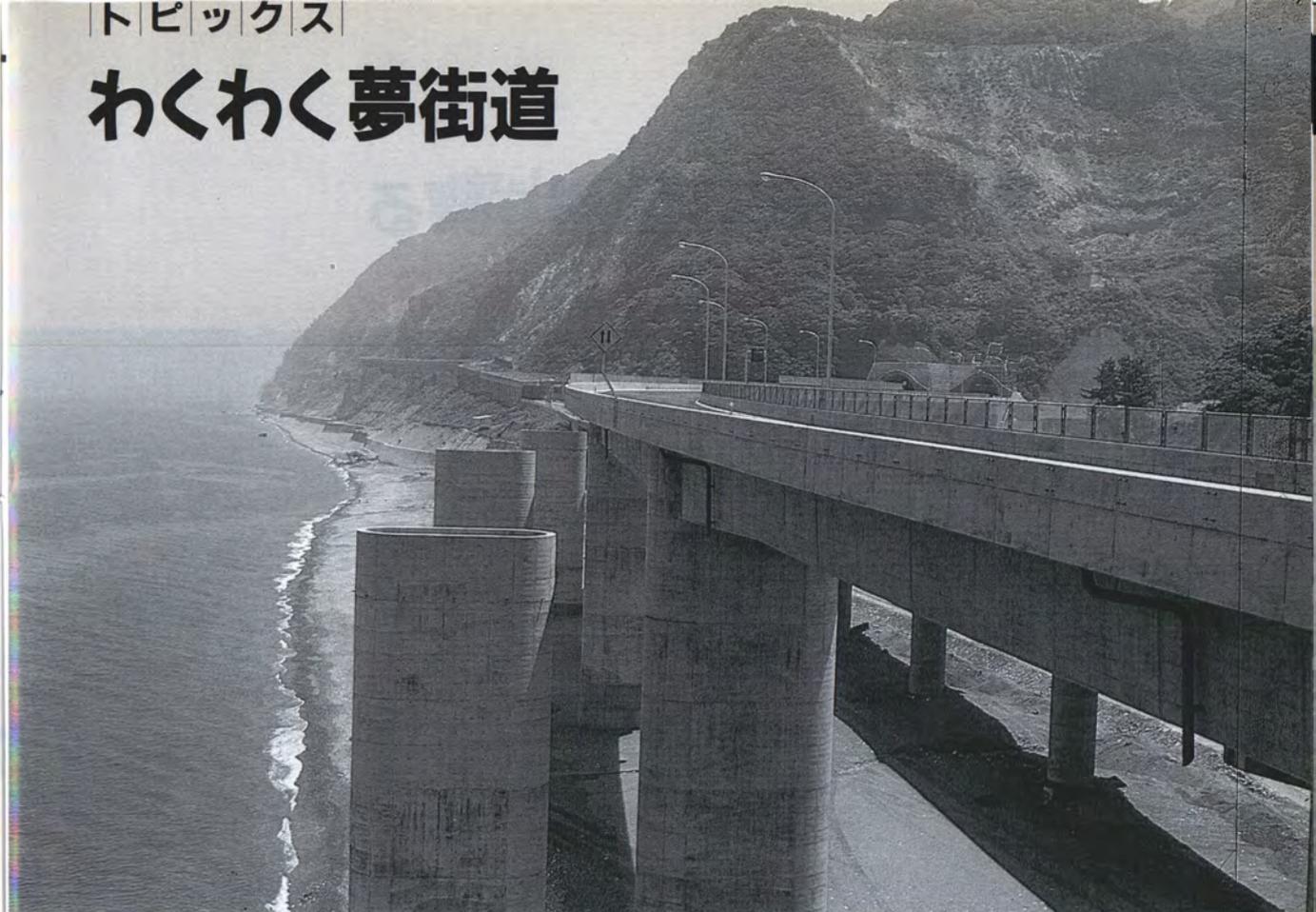
会場では、県内各地の観光地が紹介され、また、特産品や工芸品が展示・即売されました。

併せて伝統的工芸品展も開催され、木彫、銅器、和紙の各コーナーでは製作実演が行われました。巧みな手さばきに集まった人々は時のたつのも忘れて見入っていました。

十一日、十二日には民謡や太鼓などの郷土芸能の競演も行われ親子連れらでにぎわいました。

このまつりに参加して、夏休みプランをたてた方も多いのでは。

わくわく夢街道



7月20日、北陸自動車道が全通。

7月20日午後四時、

北陸自動車道朝日～名立谷浜（新潟県）間約60キロメートルが開通します。

これにより、昭和41年の着工以来、

22年余の歳月を経て、新潟黒崎～米原間が一つになり、

北陸自動車道が全線開通します。



先端技術の粋を集めて、 フォッサマグナを貫通

北陸自動車道は総延長四百八十三キロメートルで、今回開通する区間は、この十四パーセントにあたります。ここは、糸魚川・静岡構造線（フォッサマグナ）と呼ばれる大断層地帯を貫通しており、天下の険、親不知・子不知海岸を通っています。

したがって、二千八百四億円の巨費と先端土木技術の粋を集めて、全長三・四キロメートルに及ぶ親不知海岸高架橋や二十二本のトンネル四十一橋の橋梁を設けました。これらは区間の七十八パーセントを占めているため、ほとんどが暫定二車線で対面交通となります。

東京まで5時間半に

北陸自動車道は、日本海側唯一の縦貫道です。長岡市で関越自動車道と接続し富山から東京までの所要時間が五時間半になり時間距離が大幅に短縮されます。地すべり対策、雪氷対策が確立しているため、天候による影響を受けにくく、定時的かつ安定な輸送を確保します。

また、名神高速道路とも接続するため、北陸、関越、東名、名神の各高速道路からなる一大高速ネットワークが完成します。これにより富山と首都圏、関西圏、中京圏が強く結ばれ、地域間の交流がより一層活発になり、本県の産業、経済、文化、観光リゾートなどの開発振興に図り知れない活力を与えるものと大きく期待されます。

イメージアップ作戦

県では、開通を機に、イメージアップ作戦を展開します。東京では「いきいき富山フェスティバル」、「いきいき富山観光キャラバン」首都圏では、テレビスポットも放映します。

県内では、県内外の企業、観光関係者などを集めた「88いきいきとやまパフォーラム」を開催します。また、全インターチェンジを花で飾ります。

地元朝日町では、七月三日全国から参加者を募り、「おはようハイウェイ歩こう会」など多彩なイベントも開催されます。

新しい北陸道は、今、二十一世紀への夢街道として大きく発展しようとしています。

宇奈月温泉がグリーンと近くなる 黒部宇奈月線バイパス開通

北陸自動車道全線開通にあわせ、七月十五日黒部インターから宇奈月温泉に通じる県道黒部宇奈月線バイパス（延長約二・四キロメートル）が開通します。観光地宇奈月への新ルートとして、大きく期待されています。

イベントシナリオ大募集



実験劇場とやま 富山県コロンブス計画

地方の時代といわれる今日、これからの地方は、好むと好まざるとにかかわらず厳しい地域間競争の時代を迎えることとなります。

こうした中で、地方が生き残るためには、他の地域にない、その地方の特色を生かした地域づくりをすすめていく必要があります。

富山県は、美しい自然、豊富な資源、高い生活水準など優れた特性を誇っています。しかし、それらはあくまでこれからの地域づくりの舞台にすぎません。

私達の住む県が将来もすばらしい県であるためには、それらの舞台の上で、人々がいきいきと躍動し、その姿が浮かび上がってくるのが大切だと考えます。

でも、富山県は、どちらかといえば昔から「真面目な県」で「遊び・ゆとり」の面はあまり得意ではありませんでした。

頑張っている人、応援します

「富山県コロンブス計画」は、元気に頑張っている人を応援して、「新しい富山の顔」を作りたいと考えています。

たとえば、「熱気球」を飛ばしている人、「アマチュア劇」をやりたくて自分達で小屋を作ってしまった人、「本物の酒」をみんなの力で作っている人、いろいろな人がいます。いろいろな活動をしているグループがあります。

活動内容、目的は別々でも、自分達の仲間の

みんなで参加できる イベントを

「富山県コロンブス計画」では、皆さんがより多く「参加」できるイベントのシナリオを、県内はもちろん全国からも募集することになっています。

そのため今年一年は、シンポジウムやティーチン（自由な雰囲気での討論会）などで議論の輪を広げながら「みんなで参加できるイベント」をみなさんで考えてもらう、という準備にあてます。

いろいろな人、グループの議論の中から、人のネットワークができ、グループのネットワークができるうちに、「みんなで参加できるイベント」の方向が見えてくるのではないのでしょうか。

そのための仕掛けとして、シンポジウムやティーチン（自由な雰囲気での討論会）を県内あちこちで開催していくことにしています。

「富山県コロンブス計画」の主役は、皆さん自身です。皆さんの考え方やアイデアの実現を県が応援します。どしどしご参加ください。



輪を扱いたい」「いろいろな人と話したい」という考えは同じ。

「富山県コロンブス計画」は、そんな「地域で活動している人、グループ」に、「イベント」という、とっつきやすい題材で「富山県が元気になる方法」を考えてもらおうという事業です。「自分達だけの輪ではできなくても、もっと仲間が増えればできる」という仲間を「富山県コロンブス計画」は後押しします。

名前は、未知の大陸を目指して船出した「コロンブス」……
富山県の新たな出発を象徴するものです。

ワクワクドキドキ コロンブスの卵

シンボルマークは独創的なアイデアを期待して、「コロンブスの卵」です。いまにもカラが割れ、生まれそうな卵は、立山と、県の目指す三つの日本一も表しています。

●これまでの活動とこれからの予定

月 日	行 事	テ ー マ
6/18	富山県イベントシンポジウム	「すばらしい魅力的な富山県燃える県民のイベントプログラム」
7/2	第1回ティーチン「砺波市「ポルカ」	「同好会と地域づくり」
7/23・24	第2回ティーチン「上平村「岩瀬家」	「酒と食を通じた地域づくり」
'88.8 ↓ '89.1	1月1回程度ティーチン開催	各回ごとにテーマを設定
'2	とりまとめシンポジウム	

▼参加申し込み、問い合わせは、県庁企画調整室へ ホットライン（0764）41-2100



実験劇場とやま 富山県コロンブス計画



基金で作る「こだわりの酒 成政トラスト吟醸の会

本物の酒を飲みたい人と、古来の技法でいい酒を造りたい蔵人・杜氏と、いい酒が売れなくて困っていた蔵元——成政トラスト吟醸の会は、この三者が結びついてきた全国初の酒版ナショナルトラストです。会員からの基金をもとに吟醸酒を仕込み、分配しています。

今年で三年目を迎え、会員は、北海道から九州まで三百七十名。年一回開かれる交流会と開吟祭には全国から会員が駆けつけます。

「酒の前での平等」「自前酒の創造」「民意で任意」をモットーとし、蔵元とはあくまで契約関係。会員は、蔵元を応援し、蔵元は会員の思いにきちんと応えています。そのかいあって早くも昨年、吟醸成政は全国新酒鑑評会で金賞を射止めました。

今年、地元福光の酒米五万石を使って純米吟醸酒を作る等、地域にも目を向け始めました。また、この会を母胎に、酒米づくりから自分たちでやる会が生まれました。一方、県内外のこだわりの会との交流も盛んになっています。酒で結び付いた人のネットワークがどんどん広がっています。

五箇山だけの味を

味道楽塾

客の顔を見てからこねるそば屋さんがいたり、地鶏を育てる人がいたり、一日中釣りに明け暮れる人がいたり——味道楽塾はその名のとおり、食に関する道楽者の集まりです。村おこしが盛んな中、「五箇山ならではの食にからんだ商品を開発しよう」と、平・上平両村の飲食店、旅館、民宿経営者が集まってきました。

これまでに「三笑楽」の原酒、そば粉百パーセントのそばだんごを商品化し、今は山ぶどうワインに取り組んでいます。また、村上家でのコンサートや、五箇山料理を食べる会も仕掛け、ログハウスも作っています。

「全部自分たちのため、遊びです。だから失敗しても笑い飛ばせます。」とメンバー。

まず、自分たちが楽しみ、その上で地場産業が盛り上がり、素通り観光客を留められればいいのか。ほとんどがUターン組。五箇山の本当の良さを知っている人たちです。



富山をキャンバスにビッグアート 造型群団「色人」

「伝統にとらわれず、好きなものを創りたい。井波彫刻の弟子たちの、こんな声をきっかけに誕生した「色人」は、各々のカラーを自由に表現し、創りたものを自由に創ろうという芸術家（職人）の集まりです。

昨年四月の結成早々、作品を並べて見せるだけの一方通行の展示会ではつまらないと、ディスプレイ・アートを開きました。メンバー八名の木彫の技法にとられないユニークな作品が並び、ディスプレイにやってきた若者たちもびっくり。いろんな感想や意見をきくことができました。また、制作過程の面白さを楽しんでもらおうと、その場で作るアート・パフォーマンスもやりました。

「ビルからあちこちを眺めると異様な物体があつたり、飛行機から造型物が見えたり。富山県をキャンバスにして皆が驚くようなことをしたい。」と重原弘明さん。いっしょに面白いことをやりたい人を探しています。

八月二十六日からマリエとやま屋上で屋外ライブアートをやるのか。またアツと言わせてくれそうです。



散居村を縦横無尽

バルーングループ 蜃気楼

早朝、砺波平野に舞い上がる熱気球。バルーングループ「蜃気楼」は、空から散居村の眺望を楽しんでいる県内唯一の熱気球グループです。

松田浩壮さん・喜美江さん夫妻が脱サラして、富山へ来て熱気球を飛ばし始めたのが五年前。現在メンバーは八名。二十五歳の女性から、六十過ぎの男性まで、気球に魅せられた人たちです。

砺波平野は、安定した気流、平坦な地形、地元の理解等、気球の条件を満たしています。おまけに散居村が展望できるとあって全国でも数少ない好適地です。

この美しい眺望をみんなで楽しもうと、「蜃気楼」では秋、仲間を集めてバルーンミーティングをやっています。五年前に四基で始めたのが、昨年は全国から十八基が集まりました。一昨年からは、とんみ青年会議所の協力も得て、「バルーンミーティング in TONAMI」は、散居の秋を彩る一大イベントになっています。

「一基だけではつまらない。気球は面白くてきれいなものだといいことを見せて、仲間を増やしたい」と浩壮さん。いきいき富山の紙風船とそっくり同じ熱気球を作って富山湾を横断するのが「蜃気楼」の夢です。



PIN-UP TOYAMA

撮影／池端 滋

雲をかきわけ

太陽が顔を出すと

田んぼの緑がずっと伸びた

あじさいが鮮やかになった

夏になったら海へ行つて

おばあちゃんちへ行つて

そんなはしやぎ声が聞こえる

つゆの晴れ間





気軽に入り 県民文化のよりどころ

……………県立近代美術館

レポーター 青山桂子さん(婦中町)

およそ美術という言葉には縁のなかった私は、近代美術館という名に緊張と恐れさえ持っていたのですが、明るく広々とした建物に入った途端、肩の力がぬけていきました。

**入館者50万人突破。
“頑固な信念”が
全国指折りの美術館。**

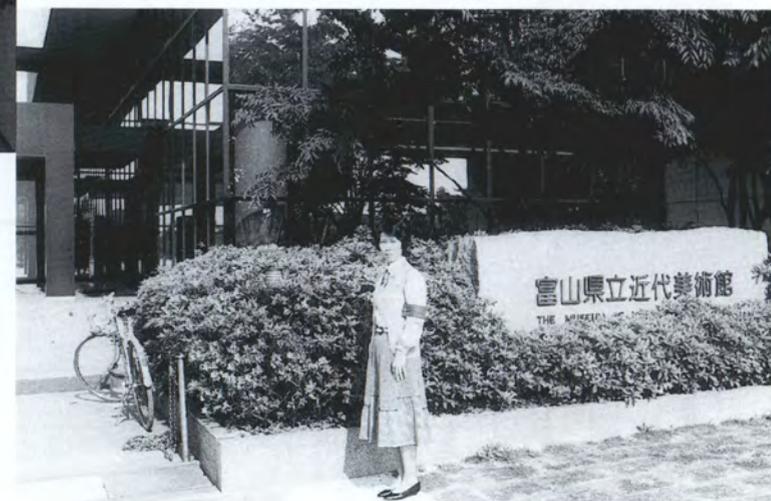
この県立近代美術館は、昭和五十五年に開館し、今年の五月十四日には五十万人目の入館者を迎えました。

日本国内では、設備の整ったスケールの大きい指折りの美術館として名高く、また内容においても、頑固なまでの信念を持つていることが、職員の方の熱のこもった説明から伺われました。

一階の企画展示室で開催されていた「サム・フランシス展」は、原色を使ったとても大きな作品が並び、ぐるりと一回りすると心が晴れ晴れするような感動を覚えました。

二階には常設展示室があり、順に二十世紀美術の流れを追った展示がされ、知識の乏しい私も興味深く見る事ができました。また、二階のロビーにはビデオブースコーナーがあり、誰でも自由に好きな項目・作家を選び、目と耳で説明を受けられるようになってい

ます。
**幼稚園児からお年寄りまで。
最近はお見合いやデートコースに**



常設の展示替えは、小さなもので三カ月に一度、大きなもので一年に一度行われ、版画などは三カ月展示すれば半年眠らせて変色を防ぐなどの心配りがされているとのこと。また、他の美術館との作品の交換展示もされています。ほとんどの展示物の前には、ロープなどははられておらず、規制されずに近くで見学できるようになっています。これだけ信頼されていけば、見学者もマナーを守ろうと心がけるでしょう。

幼稚園児からお年寄りまで幅広いファン層を持ち、遠足から研修の場までに利用され、また最近ではお見合いやデートのコースにまでなっているとか。日曜・祭日には若いカップルで一杯になるといいます。

生涯教育がさげばれている今日、県民に親しみやすく工夫され、一部は無料開放もされているこの施設をもっと地元の人一人一人が興味と関心を持ち、気軽に利用しなければならぬと思います。

そういう私も、今日訪れるまで県内にいながら知らなかったのですから、まだまだ御存知ない方も多いものと思います。隣には新しく駐車場もできましたので、ぜひ皆さんも見学にいらして下さい。私も今度は子供をつれと今から楽しみにしています。

レポーター 募集

「レポーターをしてみたい」「県政のあんなところ、こんなところをみてみたい」、こんな方は県庁広報課までご連絡ください。あなたの参加をお待ちしています。

ふるさと
みる記

富山市

自分だけの宝物を探して 青空のみの市

「どうだい、おじいちゃん、この花びん
これは江戸時代中頃のもんだよ。」
「つい最近のもんじゃないの」と外野席。「正
真正銘、江戸時代の、いや少なくとも大正時代



もの、値うちもんだよ。一万円どう。一万円
で。」
その間、おじいさんは前に座り込んでしげし
げと花びんを眺めている。——
こんな光景がそこかしこで見られる日曜日。
ここ護国神社では、毎月第一日曜日に青空の
みの市が開かれる。

「京都の陶器市みたいなものが富山でもでき
たら」というのがトントン拍子に話が進んでこ
うなったというのみの市。始まったのはかれこ
れ三年半ほど前のこと。そ
れ以来、毎月この日になる
というんな人が集まってくる。

「ポロポロの軍刀らし
きものをさも宝物でも得た
かのように嬉しそう持って
帰るおじいちゃん。いわく
ありげな骨とう品屋さん。
日頃は普通のサラリーマン
なのにこの日だけはラーメ
ン屋さんに変身してしま
うおとうさん。風呂敷にファ
ミコンカセットを広げて売
っている人。家での不用品
を売っているとしか思えな
い人なぜかアフリカ産品を売っている人など」
ちなみにこののみの市、二メートル当たり五百
円の協力費を払えば誰でも出店OK。多いとき
には、百店余りの店がでる。

「ここにきて一日中遊んでいられる方もいま
す。お客も出店者もみんな楽しんでますよ。昔



の鎮守の森みたいにごく自然に人が集まって、
そして自然に暮れていくという感じがいいです
ね」と世話人の田岸登志江さん。
もうすっかり市民のいこいの場として定着し
たのみの市。八月一日には星空のみの市も予定
しているとか。

「ただ忙しくて」という田岸さんは、今協
力者を募集中。お祭り好きな方、実行委員会ま
でご一報を ☎〇七六四一九一—四一八四

気分は爽快、 夏まつ盛り

「休みの日は風のあるところを探してさまよ
います。浜でずーっと風を待っていて結局一日



中なにもしない
日もありますよ。
興味のない人

より喜んでもらえる人へとやっていくうちにこ
うなっていたという。

「木製品をつくるだけなら二年もすればそれ
なりのものを作れるようになりますけど、医療
面の知識がないとほんとにいいものは作れませ
ん。最近、ようやくわかるようになってきまし
たが、やっぱり難しいですね。」

ここでは、寸法の測定から制作、支払いまで
一人の作業員がすべて責任を持つ。これは各作
業員が障害者のそれぞれの症状を把握したうえ
で制作をすすめていくためだ。

「中には体をひねったままている子、手や足
が曲がったままの子もいます。そういう子の子
病状は実際に見てみないとわかりませんから。」
と与島さん。一つ一つの作品が即勉強。医療の
奥の深さを思い知らされることも多いという。
作ってほんとによかったと思われるようなも
のをこれからも作っていきたくないと研究に余念の
ない与島さん。今日もイス作りに汗を流してい
る。

富山市の概要

面積 209.06平方キロメートル

人口 317,687人

県庁所在地として、政治、文化の中心となっている富山市は、「くすり」と「ますずし」で古くから全国に知られている。市西部の呉羽丘陵一帯は史跡・名所が多く、山頂からの眺望は絶景。自然を生かした動物園ファミリーパーク、県立近代美術館は富山の新しい顔として注目されている。



からみればバカみたいなんもんですね」という栄
森貞治さん(23)、休みになると、風をもとめて、
県内各地はもとより、柏崎(新潟)柴垣(石川)、
三国(福井)まで足を伸ばす。
栄森さんがウインドサーフィンを始めたのは
大学生のとき。「なんとなくおもしろそうだった
のと、はやりのスポーツだし、女の子にもモテ
るかなあという期待も少しだけあったかもしれ
ない。」と笑う栄森さん。今ではウインドサーフ
インに魅せられ、どつぶりどつかりかかっている。
「ウインドサーフィンは冬でもやっています
さすがに水は痛いほど冷たいですけどね。春か
ら夏にかけては気候はバッチリです。風があれば
ばいことなし。」

ウインドサーフィンをやるにはサイドシヨア
(浜に対して横から吹く風)が一番いいとか。
まっ青な空と海、マストに目いっぱい風の受
けて大海原を突っ走る爽快感はまた格別だ。速
い時は時速七十キロは出るという。

「やったあとの充実感、こちよいい疲れもた
まりませんね。」という栄森さん。夢は本場ハワ
イでサーフィンをすることだとか。これから季
節は夏。ウインドサーフィンがおもしろい。

満足空間のクリエイター つくし工房

トントントン、かなづちの音がのどかな田園
地帯に響きわたる。ここ、富山市中沖にあるつ
くし工房では、障害者用のイスなどを中心に、
在宅老人用の風呂道具、ベッドなどを制作して
いる。
「作り手が使う側の反応をじかに感じとれる
ような、心のかよったものを作りたくって」と
代表の与島秀則さん(32)。このつくし工房を始め
て四年目。今までに作ったイスは二百台をこえ
る。

最初は障害者用というのとはとくに考えてなか
ったという与島さん。より必要としている人へ、



すすめています

在宅福祉の充実

の回りのお世話をします。

2、短期保護

(ショートステイ)事業

ねたきりのお年寄を介護している人が病
気や旅行などのために、一時的に介護でき
なくなった場合に、特別養護老人ホームや
養護老人ホームで、短期間(原則7日以内)
預りお世話をします。



ねたきりなど介護が必要なお年寄のいる
家庭にうかがい、掃除、洗濯、食事など身

1、家庭奉仕員 (ホームヘルパー)の派遣

人口の高齢化に伴って、ねたきり老人な
どが増え、在宅福祉の必要性が高まってい
ます。県や市町村で実施している主な施策
をご紹介します。

3、デイ・サービス事業

在宅のねたきり老人を自宅からデイ・サ
ービスセンターへ送迎して、入浴、給食、
日常動作訓練などのサービスを行うととも
に介護家族の負担の軽減を図っています。

4、通所デイホーム事業

一日中介護を要する身体の弱いお年寄
りをデイホームへ毎日預り、訓練による
痴呆の予防及び介護者の介護負担の軽減
を図っています。



5、日常生活用具の給付

低所得のねたきり老人等の日常生活の便
宜を図るため、特殊寝台、浴槽、マットレ
ス等の各種の用具を給付します。また、低
所得のひとり暮らし老人に対しては老人用
電話が貸与されていますが、今年度は、こ
れに緊急通報装置を取り付けることとして
います。



詳しくは

市町村の老人福祉課や県庁高齢社会
対策室にお問い合わせ下さい。

ネットワークづくりのすすめ

私達は、今、生きがいや充実感といった精神的な豊か
さを求め始めています。その内容も、人によって様々で
す。また、職場や家族、近隣といったこれまで中心だっ
た関係とは異なる、趣味や興味、目的といったことによ
る人々のつながり(ネットワーク)が広がってきていま
す。

21世紀の富山県に向けて、私たちはこのような意識や
行動の変化に積極的に対応し、ネットワーク活動がやり
やすい雰囲気をつくっていくことが大切ではないでしょ
うか。また、富山の顔づくりにふさわしい人々のネット
ワークづくりを進める必要もあるでしょう。

街に活気を

富山県のイメージをいきいきとした明るいものにする
とともに、若者のエネルギーをうけとめる活気あふれる
雰囲気を作ることが大切です。このため、いつまでも街
の灯を着けておく運動や夕方五時以降の趣味活動の奨励
を提言しました。

創造的な消費は新しい産業を生み、人々の意識をかえ、
地域の活性化を実現します。その仕掛けとして、「都市に
活気を、人々に生きがいを」をキャッチフレーズに、週
日の夜に継続して市民参加のイベントを展開してみては
どうでしょうか。

さらに、文化やスポーツなどの分野で活躍する人々を
中心とした多様な活動グループづくりの仕掛けも必要で
しょう。

芸術文化の創造の場

21世紀には、芸術文化活動も生活の一部となり、人々
はよりレベルの高いものを求めるでしょう。街のなかに
芸術文化ゾーンを設け、富山の風土を生かした芸術文化
遊歩道をつくり、そこで国際芸術コンクールを開くのは
どうでしょうか。市民の基金でプロのオーケストラを育成
することも考えられます。

近年、多くの文化施設が建設されてきました。今後は、
富山にしかない特色ある施設や特色ある運営が求められ
ます。例えば、マンガ家の藤子不二雄さんを輩出した富
山県ならではの「国際マンガ図書館」、ここを舞台とした
「まんが道場」の開設、国際少年少女マンガ交歓会など
はどうでしょうか。

文化は、ゆとり、生きがい、そして遊びです。身近な
分野で、芸術や文化の裾野を広げることが大切です。若
者が文化を創造する広場「ミャーラクモン村」、カナルパ
ーク(運河を核とした都市公園)に復元した北前船を浮
かべ、創作アマチュア演劇のメッカとする「芸術の里」づ
くりなど、だれでも気軽に参加できる創造の場づくりを
提言しました。

●報告書を読みたい方、21世紀の富山県づくりに意見
や提言をお持ちの方は、県庁企画調整室総合計画班
(☎0764(31)4111内線323,324)まで、御連絡下さい。

「豊かなライフスタイルへの変革」から

とやまデザイン

21

①

富山の21世紀が、どんな社会になるのか、
たくましく21世紀を生き抜くにはどうしたら
よいのか。県庁の職員で構成する「とやま21
世紀研究会」が3年かけて研究した報告書「と
やま21世紀への戦略(とやまデザイン21)」
が発行されました。

この報告書の概要を6回に分けて紹介しま
す。

7月には納税強調月間です

六十二年度には、皆様から一千二十二億円の県税が納付され、富山県の発展と県民生活の向上のために役立てられました。あなたの税金が、明日の富山県を創ります。皆様のより一層の御協力をお願いします。

不動産取得税 について

不動産取得税は、不動産（土地及び家屋）を、売買、交換、贈与、建築等により取得された時に、その不動産の取得者に一度だけ納めていただく税金です。税率は、四％（住宅については三％）です。

不動産の取得とは

不動産の所有権を取得した場合をいうもので、有償、無償、また、登記の有無を問いません。



不動産を取得した者の申告義務

不動産を取得した方は、取得の日から六十日以内に申告書を提出する必要があります。☆一定の要件に合う住宅（特例適用住宅）住宅用土地については、税が軽減されます。

税が軽減される要件などくわしくは、よりの県税事務所に「おたずねください。」

特例適用住宅

延床面積が二〇〇㎡以下で、かつ一㎡当たりの評価額が一七、〇〇〇円以下の住宅をいいます。

お問い合わせ先

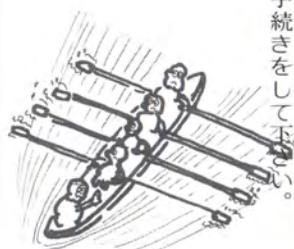
- 富山県税事務所 0764・41・2551
- 高岡県税事務所 0766・21・9411
- 魚津県税事務所 0765・24・5311
- 砺波県税事務所 0763・33・5151

入っていますか？ 労働保険

労働保険は、就労中や通勤途上の事故を補償する「労働者災害補償保険法」と、失業した場合に失業給付を行って生活安定と再就職を促進する「雇用保険法」の総称です。「雇用保険法」では、失業の予防や雇用機会の増大等を図るため、各種助成も行っています。

一人でも労働者を雇用している事業所は、必ず労働保険に加入しなければなりません。ただし、農林水産業のうち個人企業で常時四人以下の労働者を雇用する事業は任意です。

未加入の事業主の方は、最寄りの労働基準監督署、公共職業安定所へ加入手続きをして下さい。



参加しませんか 県政物価バス教室



野菜や果物の産地、食料品や日用品の製造工場、卸売市場などを見学します。



- 運行日／八月二十四、九月七、十三、二十一、二十八日、十月三、十二日
- 申込締切／七月十一日
- 問い合わせ、申し込みは、県庁県民生活課へ

物価の知識を通信教育で

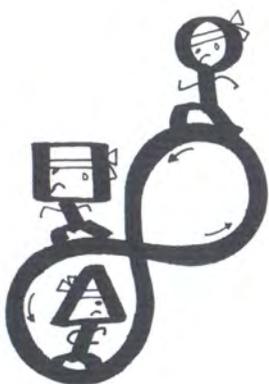
「くらしと物価」通信講座受講生募集

- 受講料／無料
- 募集人数／百名
- 締め切り／七月十一日
- 期 間／七月二十六日～一月二十七日
- ※詳しくは、県庁県民生活課へ

創ってみよう あなたの統計

富山県統計グラフ コンクール

- 用紙規格／中学生以下はB2判 高校生以上はB1判
- 課 題／自由（小学校三年生以下は児童の観察結果）
- 締め切り／九月八日
- ※詳しくは、各学校の担当先生または県庁統計課へ



青い海、ゆったり走ろう北陸路

夏の交通安全県民運動 7月21日(木)～8月20日(土) ルールとマナーを守り、安全で快適な夏を過ごしましょう。

遊びの二本 破滅の二本

覚せい剤

恐ろしい白い粉「覚せい剤」が一般市民、とりわけ青少年や主婦の間にも広がっています。また、覚せい剤の影響の下での凶悪な犯罪や悲惨な事故が多く発生しています。

覚せい剤は、一度使い始めると自らその使用を絶つことができなくなり、使い続けることにより精神障害を引き起こします。

覚せい剤の追放にご協力ください。
● 乱用防止広報フィルム（十六ミリカラー、三十分）を貸出します。

県庁薬務課へ。
▼ご相談は
富山県薬物乱用対策推進本部
（県庁薬務課内）
覚せい剤一〇番
☎0764・42・0110

生活と守る水の祭り

祭り囃子の音と共に、一筋の銀帯となつて田の流れる水、散居の杉のかげりを斑点と写す銀色の田圃、富山の春の風物誌であり、「水」は富山県の象徴である。

ところで、富山県を象徴するものは何かとのアンケートに対して、たいてい、立山、水、富山湾、雪、米などの答えが返ってくる。いずれも「水」がその根底にあり、県民の意識の中に「水」がいかに大きなウェイトを占めているかが分かるのである。

富山県は、名だたる米どころ・魚どころであり、名水どころであり、「水」の恵みを多く受けている反面、川や水との苦しい闘いのドラマが永年にわたってくり返されてきたところでもある。

それゆえ、洪水や火災からの守り、そして海の安全を祈るなど、「水」に対する県民の神仏意識も強く、各種の水祭りが県内各地域で催されてきたのである。

奇石の竜（蛇石）に神酒をかける竜石神社（魚津市南又谷）の雨乞祭り、水防と五穀豊作を祈願する西番神社（富山市）の水神相撲や庄神社（井波町）をはじめとする各地の弁財天祭り、海上の安全と豊漁を祈願する唐島（氷見市）・伏木国分寺沖黒岩の弁財天祭り等がある。



この他、屋敷神・祖先神としての諏訪明神祭り、金毘羅祭り、修験道系の不動明王を祭る水神祭りも各地に催されている。

ともあれ、水は、人のところを浄め、恵みを与え、ともに、傲慢な人間に対する警告を与えてくれるものである。今こそ水の音に心を傾けてみたい。

文・米原 寛

地区	申し込み団体の所在地 又は個人の住所地	運行日	申し込み・ 問い合わせ先
富山	富山市・上新川郡・ 婦負郡	9/7, 14, 21	県庁広報課
高岡	高岡市・新湊市・ 氷見市・射水郡・ 福岡町	9/7, 14, 17, 21 28(森林浴コースあり)	高岡地方 県民相談室
魚津	魚津市・黒部市・ 滑川市・下新川郡・ 中新川郡	9/7, 13(交通安全 ことぶきコース) 14, 28	魚津地方 県民相談室
砺波	砺波市・小矢部市・ 東砺波郡・福光町	9/7, 14, 28	砺波地方 県民相談室

9月分申し込み受付期間
7月25日～8月5日



県政バス教室

みなさんの相談窓口

県政については

県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代)
31-3131(県民電話)

高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411

魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311

砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151

消費生活については

消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
(一般相談は)
☎(0764)32-9233
(金融相談は)
☎(0764)33-3252

消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

暴力・サラ金などについては

困りごと相談所
警察本部防犯少年課
☎(0764)33-8080

覚せい剤・サラ金相談
警察本部生活保安課
☎(0764)41-8904

暴力団ゼロ110番
警察本部捜査第二課
☎(0764)42-0110

このほか各警察署でも受け付けています。



見てください・聞いてください、県からのホットニュース

60 TV

テレビ広報

- 北日本放送 毎週日曜日 AM8:00～8:30
「こんにちは富山県です」
7/3 富山県の河川を良く知ろう
7/10 世界のポスターの新しい動きは富山から
7/17 県民参加による地域の設計書づくり
～イベントシナリオコンペティション～
7/24 富山がまた一つ便利になる～北陸自動車道全線開通～
7/31 みんなで支える在宅老人の周辺
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30
「110万人のひろばクイズ/フォーカス・イン」

ラジオ広報 RADIO

- FMとやま
「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月～金曜日 AM9:30～9:35

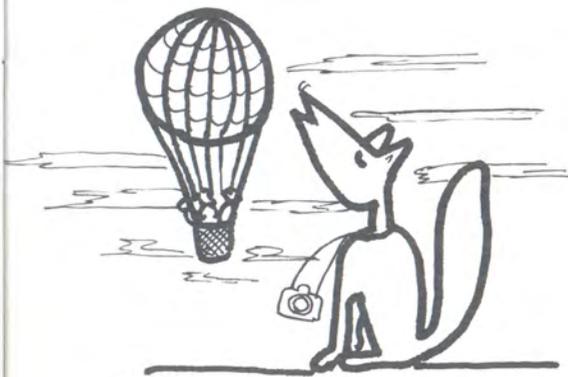
新聞広報 NEWS PAPER

- 北日本、富山、読売、北陸中日
毎週第2土曜日
「県からのお知らせ」
毎月最終土曜日
「みんなの県政」
- 朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

編集後記

★「酒がわかるのは二十五歳すぎから」酒は仕込み水と同じ温度で飲むのが一番うまい。冷蔵庫から出して少したつたのを食事前に一杯だけ飲むのが上手な飲み方。」と成政トラストの方。なるほど、今まで酒をおいしいと思えなかったのは、へたな飲み方と若さのせい？下戸の私も一安心。

★熱気球の松田さん夫妻は、県内ただ二人のライセンス保持者。飛ばす時は小一と幼稚園のお子さんを連れていきます。ただ、早朝五時に起こされて、お子さんは、迷惑顔とか。家族みんなで楽しみたいたいという気球ファミリー……うらやましくて、よだれが出そうです。



「はし、この夏はここでキャンプだ」
 なんて、新しい声が聞こえてきました。

届きましたか!?

『とやまページ725』

(富山県公的施設利用ガイド)

家庭に一冊、もう届いていますね、富山県内725ヵ所の公的施設を紹介したガイドブック、『とやまページ725』。ページをめくって、さっそくこの夏の家族レジャープランをたてた家庭もあるようです。「こんなにたくさんあるなんて知らなかったわ」なんて声も、よく聞かれます。ご家族みんなでページをめくって、どんどん利用してください、みなさんの施設なのですから、ね。



★まだ届いていないご家庭は、下記へご連絡の上、受け取ってください。

- 富山市内の家庭は、県庁広報課へ。
- その他の市町村の家庭は、各市町村の広報担当課へ。

- ▲内容
- 記載内容
 - 分類
 - 「スポーツ」.....171施設
 - 「レジャー」.....112施設
 - 「文化・教養」.....172施設
 - 「健康・福祉」.....131施設
 - 「職業・暮らし・産業」.....108施設
 - 「相談」.....31施設

●サイズ A5版 104ページ
2色刷り